

# 地域に学び、ともに歩み、発信する学校をめざして

## 福井市越廼小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	24回

#### (2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	人数
講師・ゲストティーチャー	37人
授業ボランティア（含：低ボラ）	29人
登下校支援ボランティア	18人
その他（資源回収、ボランティア餅作り他）	43人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容〔主なもの〕

【ねらい】越廼地区の自然や人間，社会，文化，産業等と触れ合い体験する機会を充実させ、ふるさとのよさや素晴らしさを発見し、ふるさとへの愛着心を高める。

##### ①わかめ採り（5/18）

1・2年生が近くの蒲生海岸で、保護者や地域の方の協力を得て行っている。地域の方手作りの道具を借りて岩場でわかめを採り、その後学校でよく洗って干す。数日間乾燥して自宅へ持って帰り家族で食す。



##### ②定置網漁見学（6/28）

地元の菜崎定置網漁見学に3年生が参加。漁港を出発して約2時間の



行程で、勇壮な漁師の動きに圧倒されたくさんの漁獲物に歓声を上げる児童の目はきらきらと輝いている。船酔い気味の児童も網上げが始まると我を忘れて見入っていた。

##### ③海での水泳学習と浜辺のゴミ拾い（7/13）

全校が近くの蒲生海水浴場で、日頃の水泳学習のまとめと成果の発表を兼ね実施している。身近な海が存在を児童たちは改めて実感した。学習後全校で砂浜のゴミ拾いも実施しており、環境への意識も変化している。

##### ④みかん狩りと資料館見学（11/9）

3・4年生が校区のみかん農園でのみかん狩りの後、越廼ふるさと資料館を見学する。越廼のみかんが栽培されていることに驚く児童も多く、資料館では社会科の学習内容がより身近になり、越廼地区をよく理解する機会になった。



##### ⑤左義長への参加（1/16）

地元の蒲生海水浴場で行われる地区の左義長に、今年は1・2・3年が参加をした。参加は3回目だが、日本の伝統文化に触れるよい機会と考える。寒い中神事の時は神秘的な顔で聞いていた児童たちは、その後の地元の方のご厚意でぜんざいを振る舞われた。

##### ⑥学校情報の積極的な発信

授業公開や行事等の参加案内だけでなく、行事への協力依頼を積極的に行っている。終了後は学年だよりや学校だよりを通じて子どもたちの活動の様子を保護者や地域速やかに伝えている。

#### 成果と課題

○成果として、保護者は勿論のこと地区の方にもいろいろな形で協力や参加をお願いしたくさんのお力添えをいただくことができ、充実した体験活動になりねらいを達成することができた。

△より効果を高めるために、6年間更には小中9年間を見通して、内容や実施時期の検討、地域の教育資源の新たな開拓、発信の方法など、系統的に幅広く工夫をしていく必要がある。

